



けんぷファー?!⑦



## 【登場人物紹介】



こば（青）：♀・主人公・銃使い・B型・クールな性格。この物語中、唯一裏表のない性格の持ち主。自分を変えたいと思っていた。けんぷファーに変身するとなりたい自分を出せるようになる。バングルの色は青・変身後は正反対の明るい性格になる。武器はハンドガン（銃）

髪の色：変身前は黒。

変身後は黒に2本白いメッシュが入る。

パートナーアニマル：ケロロ



あい（青）：♀・こばの親友・魔法使い・B型・鈍い性格・オカルト傾向ありの不思議ちゃん・靈感持ちで、見た目とは違い、趣味がBLやコスプレだそうだよ。バングルの色は青・変身後は正反対の男勝りな性格になる。武器は魔法で火の玉を作り出す。

髪の色：変身前:黒  
変身後:オレンジ（左）

パートナーアニマル：キイロイトリ

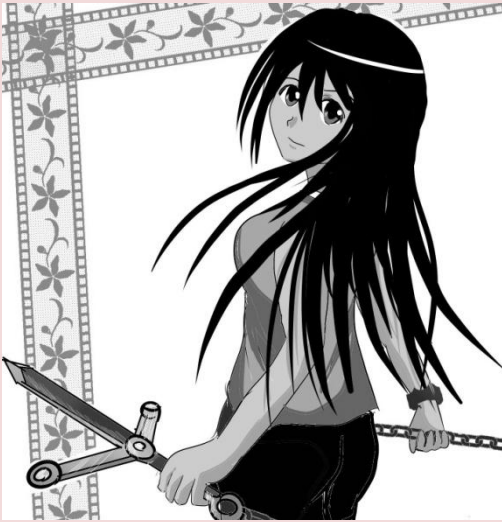


あやの (赤) : ♀・味方・魔法使い・B型・一人称は「僕」。こぼのバイト先の1つ年下の女の子・とてもわがままで自分勝手なところが激しい・辛い過去持ち・ノジマケンジが大好き。実は歌と料理が最高にうまい。バンダルの色は赤・変身後、特に性格に変化はない。武器は魔法で火の玉を作り出す。tkhsのブログ荒らしと、ニートだが大学に居候することが最近の日課。の生活をしている。

髪の色 : 変身前は黒。

変身後は赤になる。

パートナーアニマル : なし



ケン（赤）：♂・味方・鎖付き剣使い・大学の男友達・O型・高橋の相棒・のんびり屋な性格・いつでもマイペース・いわゆる草食系+わんこ系。なはずなのに見た目とは裏腹！？Sな面もあるという噂が…。バングルの色は赤・変身後は女になる。武器は鎖付き短剣。

髪の色：変身前は黒。

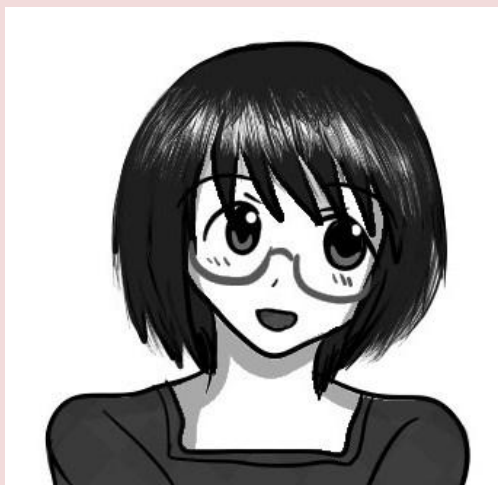
変身後も黒だがロングになる。女体化（左）

パートナーアニマル：クロ（ニャンパイア）



高橋：♂・日本刀のような剣使い・大学の男友達、通称（自称？）部長さん・AB型・ケンの相棒・ヘタレな性格・弱い自分を隠そうと強気な態度に出るときもしばしば・バンダナなしだが、モデレーターとしての武器、剣（日本刀）を使える。あやのとショウとよく対立している。

髪の色：黒 たまに茶色



ともみん：♀・機関銃使い・こぼのバイト先の先輩。名字は高橋だが、部長さんとはまったくの無関係である。ちなみにB型。

穏やかに見えるが実は超ツンデレのツン！・なんでもマヨネーズをかけて食べるマヨラー・バングルの色は赤。（白の力が消滅後、白から赤に色が変わった）。武器は機関銃。

パートナーアニマル：キレネンコ

髪の色：黒

変身後は白になる。





ショウ：強気な性格（ツンデレ？）・スポーツが得意・ケンとは正反対な性格なのになぜか気の合う親友・バングルの色は青。変身後はケン同様、女になる。ちなみにゴスパン系の衣装をまとう。武器は魔法でプラズマ（電気）を作り出す。こぼとあやのをたまに素で間違えるときも…。そんなもって AB 型。

パートナーアニマル：うさ子（←ショウくん命名。ネーミングセンスなしw）（ウサギのラブですけどね！）

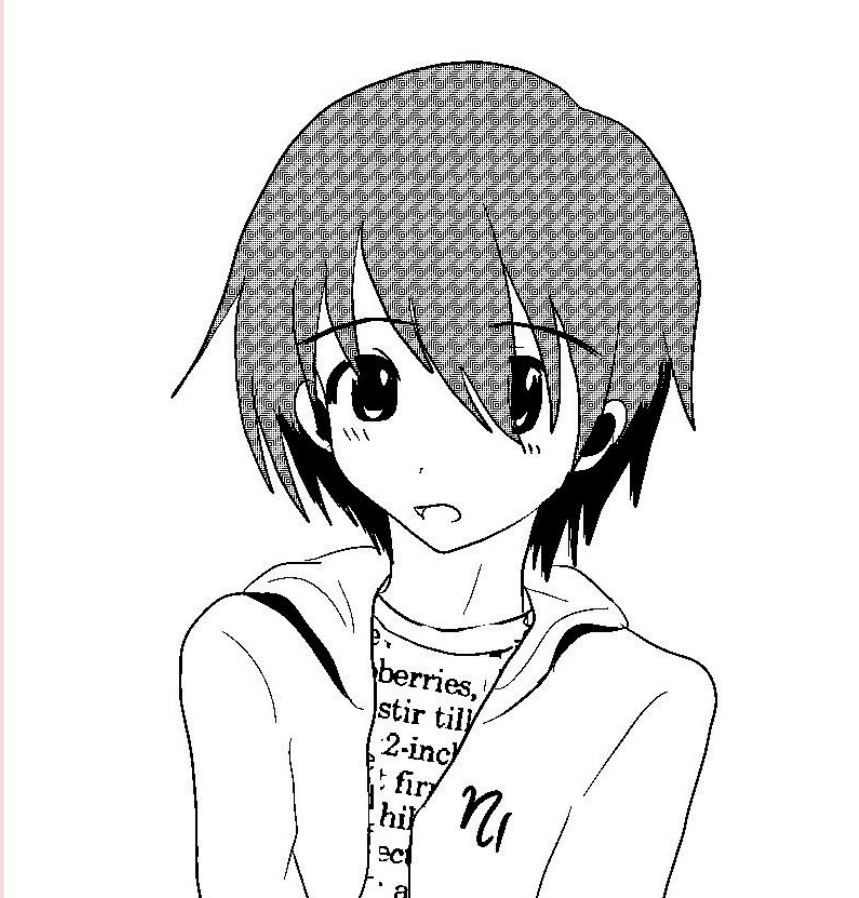
髪の色：黒

変身後：ピンク（左）



こじま：こばの幼馴染。A型。わが道を行くタイプである。女の子にモテたい願望も強く、可愛い女の子ランキングなどを自分の中でつけてたりする。男は嫌いらしい。たつやくんとは相性が悪い。

髪の色：金だったり、明るい茶だったり



たつや：B型。こばとあいとの関係者…？ゲームで例えると隠れキャラに値する存在。幸薄く、こばに付きまとうストーカー傾向が強いアマチュアギタリスト。結構真面目だが、裏表のある性格で、隠れドSでありエロリストである。そんで料理上手な家庭的オトメン！

髪の色：黒

遠い昔に交わした約束、お付き合いをしてきた人たち。

それぞれが、思い出

だけど時間とともにそれらの存在は消えてゆく。

忘れていってしまう。

けど、完全に忘れたわけではなく忘れかけていたものを  
思い出すときがある。

それは、ほんの小さなことがきっかけになったりするもので、普段、意識  
はしていない。

無意識に存在を

意識しない

だけど

ほんの少しずつ

何かが変わってゆく

---

10年ほど前

こば「...えっ？」

こばは放課後、幼なじみのこじまくんに小学校の校庭に呼び出された。

こじま「その...付き合っって欲しいんだ...けど...」

頬をぼりぼりしながらちょっと照れながら言う。

こば「...」

こじま「だ、だめ...？」

こば「...。」

こじま「ごめん...急にこんなこと言われても、困るよね...。」

うん...困るよ

すごく...

だって、こんなこと言われるなんて思ってなかったし...

こば「...」

そう、心では思ってるんだけど、なぜか言葉にならない。出てこない。

こじま「ごめん！(笑)なんでもないから！忘れて？じゃ、また...！」

こば「...。うん...」

---

そして今。

2011年、春

こば「はあ...今日もバイトか...」

そういえば高橋くんから久しぶりに、けんぷ部全員集まりだーとかなんかわけわかんないこと言ってるメールきたし！

高橋くん、あれからどうなったんだろーなー

バイトまじもう心がおれそう...

とか考えながら

駅前を通ったとき、1人の男の子が目にとまった。

ビラ配りをしてる、前髪で片目が隠れた(というかも両目が隠れそうな勢いの)黒髪のボブショートヘアの、ねくらみたいな男の子が、代永翼のような可愛い声で一生懸命ビラ配りをしている。

こば「...」

男の子「あっ...」

こば「あ?(笑)」

男の子「...////(照れながら下を向きながらもじもじしてる)」

こば「何か?(笑)」

男の子「あっ!あの...これ...」

と言って、こばはビラをもらった。

ビラには、ライブのお知らせ♪とかが書いてある。

こば「(ふーんwwくだらねーww)」

男の子「あっあの...もしよかったら、みにきてくださいね!」

こば「(いかねーwwww)ああ...。」

このビラに載ってる歌ってるやつと、このビラ配りのねくらやろーは別人だな...

こいつもアルバイトか...大変だねー(笑)頑張れ少年よ!

こば「はっ」←鼻で笑った音(笑)

とか言いたかったけどめんどくさかったからやめた(笑)

こば「つかバイトだったし！(笑)」

こばは急いでバイト先に向かった！

男の子「……。来てくれるかなあ♪(ぼそっ)」

♪ I love you from my heart ～

# 1 キオク

---

けんぶ部

高橋「で！」

あやの「久しぶりだな！このメンバーとか！」←自称ニート

ケン「そうだね～！」←廃人ニート

ショウ「半年ぶりぐらいじゃねー？」←ばりばりフリーター



あい「ま、そうだね(笑)」←無名同人ライターフリーター  
部長こと、高橋を中心にぐるりとちゃぶ台を囲むメンバーたち。

高橋「なんつーか、俺たちみんなフリーターかニートだよなwww」

あやの「お前はなんだ?(笑)」

高橋「俺は部長だ!(笑)」

あやの「けんぶ部じゃなくてニート部でよくね?(笑)」

高橋「ちょwww聞いといてシカト?!ねえwwのじこちゃーんww」

あやの「うっさいだまれカス(笑)www」

高橋「ひどっ!www相変わらずひどっ!(笑)」

ガチャッ!(ドアが開いた音)

こば「超遅れたし!(笑)」

あい「フリーニート部」

ケン「フリーニート部!いいかもしれない…」

こば「は?(笑)」

ところで今日、ともみんはいないのだった。  
売店にいるけど(笑)

あやの「こば！」

こば「何？(笑)」

あやの「そのズボンのポケットにぐしゃぐしゃになってはいってる紙はなんだ！？(笑)」

こば「ああ。これ？駅前でもらった」

ライブ告知のビラだった！もうぐしゃぐしゃでよくわからなくなってる  
(笑)www

あい「…！」

ショウ「へー？ライブかあ」

ケン「いいね！バンドとかかなあ！！」

高橋「どーでもよくね？(笑)」

あやの「いいなー！僕もいつかこんなステージで歌いたい！！」

こば「てか…いらないしwwこの紙wwww」

あい「ふうん…ライブ…ねえ」

とりあえずよくわからなかったけんぷ部の集まりが終わって(結局、だべって、ポテチ食べて終わった(笑))

こばは超久しぶりの東京工芸大学の廊下を歩いている。

こば「…」

あい「こばぽーん！(笑)」

こば「うわ！(笑)びびったし！(笑)いきなり後ろから話しかけないでくれない！？(笑)」

あい「ねえねえ、さっきのライブプリント見せて！(笑)」

こば「ああ、うん(てかこいつ謝ってなくね?!wwww)」

さっきよりさらにぐしゃぐしゃになったビラを手渡す。

あい「…これ、この人が配ってた？(笑)」

と、歌ってるやろーを指差しながら言った。

こば「いや、そいつじゃないやつだった(笑)両目隠れた変なやつだった」

あい「ふーん？(笑)そいつさ、これ渡すときなんか言ってた？(笑)」

こば「え？(笑)なんか、みにきてね。とは言ってた！」

あい「そいつから？(笑)」

こば「そいつから(笑)」

あい「へえー…。どういう気なんだあいつ…私を巻き込んでいて今更(ぼそっ)」

こば「？何か言った？(笑)」

あい「えっ？！ううん！？別に！？(笑)」

こば「そっか(笑)まあとりあえずこんなところで立ち話もなんだし、帰ろ？」

あい「そだね(笑)！」

---

バスの席に隣同士で座りながら喋るあいとこば。

こば「……（さっき、高橋くんが言ってた話題だけど……）」

.....

高橋「俺さ一気になることがあるのよ～！」

ケン「部長さんがまた何か言いました……！（笑）」

あやの「なんだ？言ってみろ？w」

高橋「その～あれよ！元彼、元カノってどう思う？」

あやの「元彼？」

ショウ「元カノ？」

あい「う～ん……たたきのめしたいwwwwww」

あやの「あいちゃんwwwwwwwwwwwwww」

こぼ「……。」ズズッ←お茶飲んでる音

高橋「やっぱまだ好きだよな…？」

ケン「うん……僕も。心のどこかで好きだなあ～」

ショウ「俺も、いつまでも忘れられないかもな…！まあいいけどwwww」

.....

こぼ「(まあそんな話をしてたわけだけど……)」

あいちゃんが一人で窓の外を見ながらはしゃいでるのをボーっと見ながら

考える。

こば「……………」

(昔の事だけど……。こばは元彼とかは……………)

ただひとつ、心に引っかかることがある。

それが本当なのか、わからない。

だけど、こばの好きだった人は、まるで闇の中に消えたようなそんな感じ。

その人は本当に存在しないのか

それとも……

こば「……………」

あい「こば！すごくて！？自動販売機が横に 25 個並んでるよ！連続で！カオスすぎる！♪」

こば「え……？あぁうんそうだね」(←てきとーｗｗｗｗｗｗ)

もし、会えるなら

もう一度

会いたい人はいる。

気になる人もいる。

これから先……どうなるんだろう

アナウンス「まもなく終点～本厚木駅前～本厚木駅前～～」

その時、こばのケータイが鳴った。

こば「…？あれ、メールだ」

あい「こばぽ～ん！ついたよ！」

こば「あぁうん……。ちょっとまってくんない？www」

---

本厚木駅

こば「じゃ」

あい「うん！またね～～！んお？」

こば「変な声出してなくていいから！！で、どうかしたわけ？（笑）」

あい「うん……ちょっとね？」

こば「…？」

あいちゃんの見ている方を見ると、なんと！！

そこには、昼間居たビラ配りのねくらやろーがいた！！

こば「あいつ……まだ配ってらwwwwww」

あい「……」

男の子「お願いしまー////…す…！？げっ！」





こば「うん」

……あいちゃんが改札に入って行ったのを見計らって、さっきのメールを読み返す。

こば「(こじまくんからだけど……。今度、久しぶりに会えない？2人で。って……)」

どういうことだろう？

こば「こじまくん…か。…久しぶりだな…」

男の子「…………。」(←壁に隠れて見てる)

♪ゆらゆらゆれてる～

次回予告！

あい「いやはや！はじまりました！こばの物語！これは主人公はこばで、各キャラ4話構成のお話になっています！」

こば「知ってるしw」

あい「こじまくんと久しぶりに会うんだってね！ww謎のこばに付きまとう男の子も気になりますねwどうなるんでしょうねwww」

こば「すとーかーでしょうか？いいえ、こだまですwww」

あい「こだまなの?!ww」

次回!けんぷアマガミ!

#2 サイカイ

あい「みないと呪い!かけちゃうぞ!☆」

#2 サイカイ

♪ I love you from my heart ~

アレから数日後。こじまくんから久しぶりにメールが来て、今日は公園に来ているわけだけど……

こば「遅っ…」

もう20分たってるのに、こじまくんこなくね?w

こば「ちっ。だいたいそっちから呼び出しといて遅れるとかなんなわけ?wwwってつい声出して独り言っぼく言っちゃったし!こじまくんのせいだし!!?」

イライラしつつも、時計塔の柱に寄りかかる。

こば「おっそ……なんじゃわれーえ」(←こば流、言ってみたかったセリフ1)

と、その時!

ポンっ♪とこばの肩を後ろから誰かが、かる〜く叩いた。

振り返るとそこにいたのは。。。。

男の子「やあ！そこのきみ～♪ひとり？かーわいいね！俺さ一暇なんだよねえ♪ていうかもしかして、キミ、デート待ち？」

こば「……」

なんか、代永翼みたいな女みたいな可愛い声を出してる茶髪のボブヘアの男の子がいた。

エレガントチックな服装がちよっと印象的。オシャレな男の子だ。

男の子「なんちゃって……///（照笑）」

こば「……なんでしょうか」

男の子「んんっと…その～///…こば…。はっ！」

こば「！？（何で名前知ってんのこいつ！？）」

（そういえば、あいちゃんとこいつなんか関係あるのかも…この前もなんかこの二人おかしかったし…）

こば「あの。名前なんですか？」

男の子「っ！？な、名前……………///」

こば「うん」

男の子「た!!!」

こば「た？」

男の子「はぁぁうん…!!!恥ずかしいよお!!!」  
とか言いながら、顔を手でおおい隠してる。

こば「いいから！さっさと教えてくれない！？w」

がっ！とそいつの腕を掴んだ！

男の子「ひいいい！！！！！！たつ…や…!!!です…!!!」

こば「たつ…。ん！？？！！」

ぐいっ！！

っと今度はこばの腕が後ろから引っ張られ、その男の子から引き離される。

こじま「……こば、遅くなってごめん」

こば「こじまくん！！？」

そう、こばの腕を引っ張ったのはこじまくんだった。

たつや「…う～…（こじまを睨んでる）」

こじま「……なにか？（たつやを睨んでる）」

たつや「……別に。なんでもねー……」

すたすたと帰って行った……

こば「(な、なんだったの！？w) ……あ、あの…こじまくん？…そんなに抱きしめたら…苦しいよ…!!!」

こじま「あっ！…ご、ごめん！」  
ぱっと手を離す。

こじま「……行こう」

こば「うっ……うん」

---

二人で、デパートとか、洋服店に入ったり、ゲーセンに行ったりした。  
しかもほとんどがこじまくんの要望なんだけどwww

こば「……」

こじま「こば！カップルおすすめのプリクラだって！」

こば「……」

こじま「こば？」

こば「…あ、ごめん。ぼーっとしてた。」

(なんだろう……さっきの人ちょっと気になるし……なんて言ったってあの人…)

こじま「……もしかして、つまんない？他行く？」

こば「え！？いや……そうじゃ……なくて……」

フルフルと首を振るが、こじまくんはこばの手をとって、ゲーセンを出た。

——路地裏

こば「(こ、こんなところに連れてこられたけど……こじまくん?)」

さっきから、彼の背中をただついて行くように、お互い無言のままここまで来た。

ついてきてといわれて来たのは、薄暗い路地裏で……

こじま「…こば…」

そう低く囁くと、くるっと振り返った。

こじま「…さっきの男とは…どういう関係？」

こば「そ……それは…！知らないよ！他人だし…始めて会ったんだよ！？……」

こじま「それなのに…あんなに楽しそうに話すんだ……？」

こば「(え！？こば楽しそうだった！？w……じゃなくて！w)」

こじまがこばを壁に追い込みながら話を続ける。

こじま「…うちより楽しいの…？」

こば「だから……本当に知らないんだってば……」

こじま「……こば。こばのこと……」

ドッゴオオオオオオオオオオオオオオオオオオン！！！！！！

こば「！？」

こじま「！！」

急に爆発音がしてビルが崩れ落ちた！！

こば「なっ…なに！？」

こじま「こば！気をつけて……」

こばを守ろうと体で覆いかぶさろうとしている。

こば「……！？（まさか！新しい敵！？）」

でっでも……

こじまくんの前じゃ変身できないし……このままじゃやばくね！？

こば「(こじまくんどいてよ～～～！！！！)」

こじま「…こばはここで待ってて……」

こば「え！？でも！こじまくん、危ないよ！？」

こじま「大丈夫だから……。すぐ戻る。こばはここにいて」

ダッ……！！！！

こじまくんはそう言うと、こばの元を離れた。

こんな薄暗い路地裏に一人取り残されて……なんだか恐怖と不安だらけに

なる。。

こば「……どうしよう……どうすればいいのかな……」

新しい敵だったら、変身して戦わないといけないのに…こじまくんに動くなって言われてるし……

こば「……」

自分の右腕の青いバングルを見つめて、それを左手でぎゅっと握り隠す。

こば「…こんな時に何もできないなんて…こば、けんぷファーとして自分がなさけなくなる……」

涙で視界がぼやけかけた時、後ろからふわっと優しく包み込みように抱きよせられた。

こば「……！？（涙）」

たつや「…こば…。大丈夫だよ。だから、自分を責めないでくれ……」

こば「……！！（さっきの人…!）」

たつや「こばは…情けなくなんかないよ…頑張ってるし、努力してる……ちゃんと…わかってる…」

こば「……」

（なんだか懐かしい感じがした）

（……）

こば「……うん…」

たつや「…じゃ…またね」



すっと手を離して、そのまま路地裏の奥に消えて行った。

こば「…あっ…待って……！ききたいことが……！」

こじま「こばっ！！」

振り返るとこじまくんがいた。ちょっと左腕にけがをしているようだ。

こば「！こじまくん…その切り傷！??」

こじま「あっ…あぁこれか……！気にしなくていいよ！なめときゃ治るし！」

こば「そ…そうじゃなくて……！！」

(ちょっとここを離れたくらいで、ふつうそんな傷なんてつかないよ!?)

こじま「ちょっと…かすれただけだし！」

こば「だ、大丈夫なの……？(でも一体どういうことなんだろう……)」

♪ゆらゆらゆれてる～

次回予告！

あい「あらららららwこばを争う恋愛スキャンダル！？こじまくんとたつこの！ばとるううううう！?!?!?!?!なんちゃってwwwていうかたくこの真実！？w」

こば「男の子って…」

次回！けんぷアマガミ！

#3 コクハク

あい「見ないと呪い！かけちゃうぞ！！☆」

たつや「この続きは！」

高橋「製品版にて！！」

こば「よろ」

あい「裏の美術倉庫の佐藤あいさんが書いた、けんぷ?!7。ついに最終巻ですがよろしくね！」